

承認番号	3955
研究課題名	生体腎移植ドナーのインスリン抵抗性と腎機能の予後について
研究の意義・目的	生体腎移植はドナーに安全性を保障すべき医療である。欧米のドナー長期予後調査では術後ドナーの慢性腎不全の発症は12%、末期腎不全の発症は0.5%程度と報告されている。一方で経口糖尿病治療薬使用例で:HbA1c が6.5%以下に管理されていれば、腎移植ドナーとして登録することが可能である。(生体腎移植ドナーガイドライン)しかしながら、糖代謝パターン別に腎移植ドナーの腎機能の予後を評価した研究はなく、腎移植を受けた方の糖代謝パターンと腎機能の予後、腎血行動態との関連性について検討することはドナーの安全性を担保する上で非常に重要な研究と考えます。
研究期間	2018年1月25日 ~ 2023年3月31日(西暦)
研究対象者の範囲	2006年7月1日~倫理委員会承認時までに関西医科大学医学部附属病院の泌尿器科で、腎移植のドナーとして片側の腎臓を摘出された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	血液、検査データ、診療記録
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける → 「共同研究機関の情報」にも記載が必要 <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である → 「代表施設のURL」を記入してください。 <input type="checkbox"/> 試料・情報を公表する → 「試料・情報を公表する方法」を記入してください。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学 職名：教授 氏名：稲葉 雅章
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	電話：06-6645-3806 担当者：津田 昌宏